

Zello PTT Walkie Talkie その二

(インカムアプリの簡単な説明と「Zello」のインストールと使い方ヒント)

JJ1SXA/池

TWO-FORTY誌第116号の原稿として書いた「Zello PTT Walkie Talkie」を、HPの「勝手にパソコン関連情報…初心者対象」欄に先行アップしていますが、本記事は、「ZELLO」のインストール及び使用上の注意点を思いつくままに書くもので、前稿と重複する所もありますがご了承を。

結論では、それほど難しくは無かったが、通話できるまでに、結構試行錯誤だったので、そんな中からピックアップした注意事項を、一般的注意に含めたものです。

インカムは、複数人でスムーズに連絡を取り合う無線通信機器として、マスメディア業界の収録現場やスタッフ同士での連携が必要なイベント会場などで活用されている通信機器を示す意味として使われている。

インカムは、正式名称を「インターコミュニケーションシステム」と言い、相互通信を意味する「インターコミュニケーション (Intercommunication)」ができる装置であることが名前の由来のようです。

ハムの世界(ハムの世界だけでは無い?)では、イベント等の支援に、アマチュア無線機を公然と使っていたが(現在でも一部で使っている)、これはアマチュア無線業務では無く違法行為だ。(240でも過去に、「中学生の手作りカメラでの多摩川下り」や「城ヶ島一周遠泳大会」等の支援にアマ無線を使った)

現在、そんな目的に免許無しで使える「特定小電力無線」、「デジタル小電力コミュニティ無線」、「デジタル簡易無線(登録局・免許局)」、「IP無線」の他、「MCA無線」、「市民ラジオ(CB無線)…コロナ禍により旧技術基準に基づく適合表示無線設備が、令和4年12月1日以降も当分の間は使用可能とされ、かろうじて生き残っている」等で通信する手段がある。「パーソナル無線」もあったが、2021年に完全消滅)

「特定小電力トランシーバー」は出力が弱く(0.01W)、最大500mほどの距離としかコミュニケーションを取ることができず、また遮蔽物や障害物にも弱く電波を遮るものがあると上手く通信する事ができない(現在は中継機が発売され通信距離が伸びているようだが)。

IP無線とは、無線と携帯電話の長所を併せ持つ新しい無線システムのことで、携帯電話の回線を使用することで、国内の携帯電話が繋がる全てのエリアで通信が可能、これらは、いずれにしても、無線機が必要だ、無線機の購入費用以外に、IP無線の利用料は携帯電話会社により違おうがおおむね、月額1,000円～2,000円位かかる、MCA無線も月額2000円～2500円位かかる、加えて、チャンネルの空きが無い状況も多く常時運用は？

こんな背景の基、ほとんど誰でもが持っている、スマホにインカム機能を持たせるアプリの登場です、現在多くのアプリが誕生していますが、今回は、その内の一つ「Zello PTT Walkie Talkie」の紹介です。

結論では、それほど難しくは無かったが、通話できるまでに、結構試行錯誤だったので、そんな中からピックアップした注意事項を、一般的注意に含めたものです。

まずはインストール、ZELLOの公式サイト「<https://zello.com/downloads/>」にアクセスし、スマホ用の「iOS版」か、「アンドロイド版」を選択してインストール、デスクトップ版もあり、

「macOS用」か「ウィンドウズ用」のどちらかを選択インストール(こちらはハンディ機の代わりにはならないが、PC用にはVOX機能がある。

インストールしてアカウント登録が完了したら、正常動作するかどうか、「echo」テストを行う、基本的には、使う前に必要なのはこの作業だけだ、Zelloの画面で1番上の行の右端、縦3点をタップすると、「最新の音声を再生」という項目があり、自分の発した音声を聞くことができる、この機能は、QSOした(他の人と話をした…受信した)時にも有効だ。

インストール・アカウント登録時の参考

アカウント登録でのユーザー名はユーザーID、プロフィール作成の時のユーザー名はユーザーIDとは違い、他人から見える名前となるので、コールサイン(小文字)が良いようだ、パスワードは、記号・半角英数字・英小文字・英大文字全ての混在

QSOする(話をする)準備

Zelloの画面で1番上の行の右端、縦3点をタップ、「ステータス」選択、「オンライン設定(右の○にチェック)

出ない時・出られない時は、「取り込み中」に設定(右の○にチェック)

PTTボタンについて

デフォルトでは、「押しながら話し、離して終了」(ハンドマイクと同じ)

Zelloの画面で1番上の行の右端、縦3点をタップ、「設定」を選択、「PTTボタン」を選択、「Screen button」選択、「1度押して話し、もう1度押して終了」に設定(スタンドマイクのスイッチ操作と同じ)が良いようだ

友達を招待してQSOする(話をする)

名前の右、「下向き矢印▼」を押す、「友達を招待する」選択、

上方に「電話帳」が出るが、右の「虫眼鏡アイコン🔍」クリックで、直接入力ができる

チャンネルに入ってラウンドQSO

「240ssb」というチャンネルを設定してあるので、ここから招待すると、招待された画面が出るので、「承認」タップでOK、自分で招待して入っても良い、これで、ラウンドQSOがOK

一寸気になる機能

右端、縦3点をクリック、「ステータス」選択→[インターフェース]で、次のように設定した方が良いかも。

- ・デバイス起動時にZelloを起動
- ・マナーモード中はZelloのステータスを「取り込み中」にする
- ・PTTボタンが押されたらZelloのステータスを「オンライン」にする

名前のところ「切断」と出ていたら、名前の右の方にある「電源アイコン🔌」をクリック(接続すると白色から青色に変わる)、音が聞こえない時は、名前の右、「下向き矢印」を押して、「Mute 📧」を調べる。

使っていると、まだ色々疑問が出るでしょうが、基本的には、自分で触っていれば自然にわかるでしょう、皆さん、アマチュア無線技士だからhi

私は野外でのSXBとの連絡手段は、スマホでの電話・メールの他、LINEや+メッセージを使っているが、Zelloが加わった、Zelloには、テキストや写真を送る機能もあるが、それはメールか、Lineにまかせ、Zelloは、通話専用になっている。(2023年6月記)